

企業版ふるさと納税 プロジェクトシート

| | |
|--|---|
| 【地域再生を図るために行う事業】 | |
| 地方への新しい人の流れをつくる | |
| 【プロジェクトの名称（タイトル）】 | |
| 玉村町の歴史的建造物を次世代へ 「重田家住宅」「嚮義堂」 保存活用プロジェクト | |
| 【寄附目標額、その他交付金・補助金等（あれば）、総事業費】 | |
| 寄附目標額：11,300,000 円 | 総事業費：13,736,000 円 |
| 【参考写真】 | |
|  |  |
|  |  |
| 重田家住宅① | 重田家住宅② |
| 嚮義堂① | 嚮義堂② |
| 【プロジェクトの概要】 | |
| <p>【国登録有形文化財 重田家住宅】(玉村町小泉42)</p> <p>重田家は江戸時代の中頃から代々医師を家業としていました。棟札に明治16年(1883)上棟として記されており、主屋・穀蔵・西の蔵・東の蔵・外便所・井戸屋形・表門及び塀等があり、この7棟が国の登録有形文化財となっています。令和3年度、土地建物が所有者の重田家より玉村町に寄贈され、町では定期的な公開、活用に向けて取り組んでいます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物、庭木等の維持・保存管理を行います。 ・季節の催事や各種イベント、「薬樹園プロジェクト」のほか、重田家住宅を地域の皆さんと支えていけるよう部活動に取り組んでいます。 <p>「重田家住宅」が医家の歴史を持つことから、訪れた人が元気になれるような拠点づくりを目指しています。</p> | |
| <p>【町指定重要文化財 嚮義堂】(玉村町樋越486 - 1)</p> <p>「義に嚮う」の意味を持つ嚮義堂は、文化5年(1808)に郷校(庶民の学校)として上樋越村に設立されました。現在の建物は明治時代の建築ですが、「學(学)」の字の鬼瓦があがっており、郷校の精神を受け継ぐものです。上樋越地区の人々は親しみを込めて「学校様」と呼んでいます。世話人9軒により維持管理が代々引き継がれていましたが、令和4年度に玉村町へ寄贈されました。現在は空き家状態で、雨漏り等により建物自体が大きく傷んでいます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・玉村町の教育のシンボルとして保存するため、令和6年度に屋根を中心とした修理事業を行います。 ・嚮義堂の歴史を活かし「学びの拠点」となるよう建物の価値を知る勉強会を行います。 | |
| 【ジャンル（タグ）】複数回答可、自作あり | |
| まちづくり、健康、文化財、地域交流、地域活性化 | |
| 【事業年度（予定）】 | |
| 令和6年度 | |

【寄附で得られるベネフィット（寄附企業のメリット）】

10万円以上寄附・・・広報たまむら及び町HPへ企業名掲載 ※広報は1度のみ、HPは1年間掲載
100万円以上寄附・・・(希望に応じ)感謝状贈呈、広報たまむら及び町HPへ企業名、企業の取組(町HPのみ)を紹介。※広報は1度のみ、HPは5年間掲載

【寄附を募る理由】

「重田家住宅」「嚮義堂」という貴重な文化財を次世代へ継承していくには、建物・庭を保存、維持管理する必要がある、そのためには多額の経費がかかります。

【ポリシー】

地域の皆さんと共に「重田家住宅」「嚮義堂」の価値を共有することで、保存活動につなげていきます。また、「重田家住宅」は医家の歴史を持つことから訪れた人が元気になれるような拠点づくりを、「嚮義堂」は学びのシンボルとなるように取り組み、玉村町の新たな魅力として発信していきます。

【困りごと】

建物・庭を保存、維持管理するために費用がかかります。また、「重田家住宅」「嚮義堂」の存在や、文化財としての価値を多くの方々に知ってもらう必要があります。

【メッセージ】

玉村町では、「重田家住宅」「嚮義堂」の歴史的建造物としての価値を知ってもらい、地域に永く愛される文化財となってほしいと考えています。皆様と共に、この貴重な文化財を大切に保存、活用し、地域の財産として次世代へ引き継いでいけますよう、ご支援・ご協力をお願いいたします。

【進捗報告】

有識者や地元住民、まちづくり団体のメンバーによる歴史浪漫たまむら委員会により、保存活用方法を検討しています。

重田家住宅：定期的な公開、活用に向けイベントを実施。平日の水・木・金曜日、毎月第4土曜日を開館。重田家住宅部活動に取り組み、地域の皆さんと活動中。

嚮義堂：地元住民向けの見学会を開催。